

# 断熱塗布工事（冬期間の施工注意点）

冬期間とは、11月～3月の5か月間

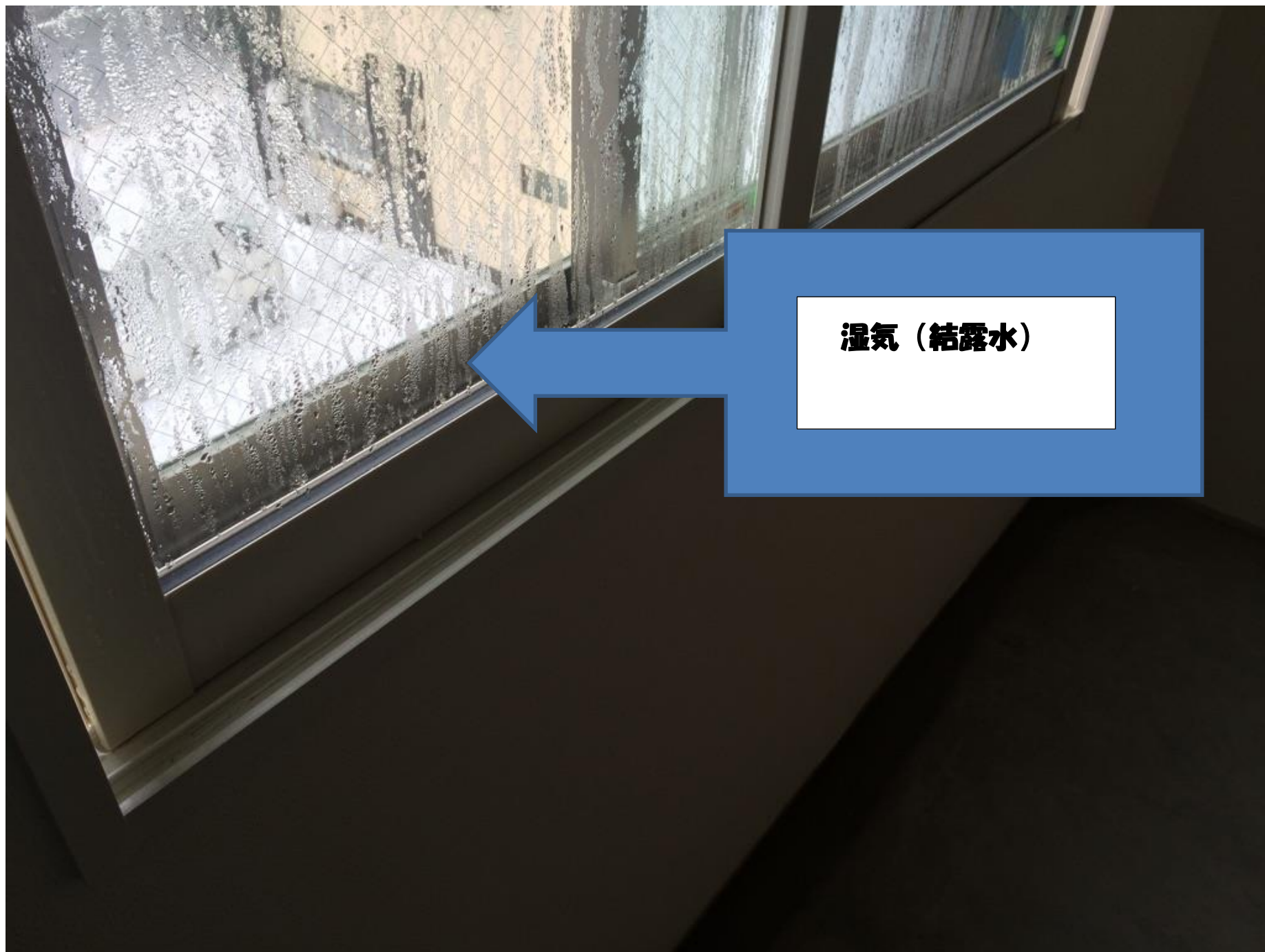
断熱塗布工事が冬期間の場合、湿気（結露水）を取り除くために、送風機・除湿機のご支給をお願いします。

## 1回目の断熱塗布（H100+w100）

- ① 断熱塗布施工の前日から室内の湿気（結露水）のため空気の入替え（換気）のご協力をお願いします。
- ② 冬期間に多く見られる1回目の施工時点に、塗布する力所が凍結していることが多いため事前に凍結処理（プロパンバーナー等で）をしてください。同時に施工する力所の床の清掃もお願いします。（施工当日も当社で下地清掃と乾燥処理を行います。）
- ③ 冬期間の断熱塗布後の乾燥期間は、夏場より2日間（施工日から）ぐらいの養生期間がかかります。その間、窓を開けての空気の入れ替えと送風機等で養生してください。
- ④ 冬期間は、暖房の為にジェットヒーターを使用する場合は特にサッシに水滴が出来ますので窓を開け換気することを心掛けてください。

## 2回目の断熱塗布（w500～ ）

- ① 施工する力所が結露水等で濡れている場合は、断熱塗布作業はできません。  
（断熱塗布施工の前日から室内の湿気（結露水）のため空気の入替え（換気）のご協力をお願いします。）
- ② 1回目と同様に、窓を開けての空気の入替えと送風機等で湿気を取り、断熱塗布を乾燥させながらの作業となります。
- ③ 2回目の断熱塗布工事は、床補修後の施工となりますが、乾燥状態を考えながら作業していきます。
- ④ 2回目の断熱塗布工事がクロス工事後の施工の場合は、十分な乾燥期間（2～3日間ぐらい）をお願いします。
- ⑤ 2回目の施工後、1回目と同様に乾燥しないうちに施工したヶ所の上に乗らないでください。



**湿気 (結露水)**

**GL ボードは、必ず通気のために床から 10 mm 離してください。**

**GL ボードが床に接していると、湿気（結露水）が床にたまり乾燥されず、**

**また、GL ボードに吸い込まれ霉の発生する原因になります。**



**窓を開けての換気**

**送風機によって乾燥**







**GL ボード床下処理**